

編集趣意書

(教育基本法との対照表)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-107	高等学校	外国語	コミュニケーション 英語基礎	
*発行者の番号・略称	*教科書の記号・番号	*教科書名		
205 三友	コ基 302	JOYFUL English Communication Basic		

1、編集の趣旨及び留意点

本書は「高等学校学習指導要領」に基づき、「コミュニケーション英語基礎」の教科書として編集した。編集にあたっては次の諸点に留意した。指導要領の目標にある「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」ために、さまざまな活動場面を取り入れ、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う」ために、積極的に英語を活用する場面を取り入れた。

なお、中学校学習内容を基本とした「やり直しのための英語」という視点を重視し、各レッスンとも本文はやさしく短い文、かつ分量も思い切って絞り込んだ。その上で基礎的な理解をすすめるために、できる限り基本的な英語を使って働きかけられるように工夫した。

2、編集の基本方針

編集に当たっては、以下の項目を基本方針と位置づけた。

- (1) 英語の入門期として必要な文字やことばの仕組みなどを「Warm up」として位置付け、英語への導入として配慮した。
- (2) 高校1年生が楽しく英語を学び、理解し、積極的にコミュニケーション活動を行おうとする態度を身に付け、その能力を高めることができること。
- (3) 生徒の日常的な生活や関心に配慮しながら、現代日本と世界が直面する様々な課題に応じて新しい教材を発掘・作成し、多面的な角度から検討・精選すること。
- (4) 国際化の進展に対応し、新しい時代の要求に合わせ、ヒューマニズムの観点にたった異文化の吸収と、生徒の側からの発信の両面を配慮すること。
- (5) イラスト・写真などビジュアルな要素を大胆に取り入れ、教科書全体の美的イメージにも配慮した。

3、対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇所
<p>Lesson 1 We Choose</p> <p>人間としての在り方、何を大切にしなければならぬかを考え、前向きにまた積極的に生きていることを学び、豊かな情操を身につける。</p>	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、人間が他の動物と違っている点を考え、これからの生き方と英語を学ぶ意義について理解してもらうことに配慮した。(第1号)</p>	<p>Lesson 1 (p. 16～p. 18)</p>
<p>Lesson 4 Our Life Lesson 7 My School Days</p> <p>障害を持った人々がどのような思いで生活しているのか、その積極面を伝えつつ、様々な人々がいじめなどを体験した例を踏まえて、人々の生き方から人間はどのように生きていくべきかを学ぶ。</p>	<p>「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし」という趣旨に沿って、障害やいじめの問題を自分の問題として考え、解決の方向を考える機会となるように配慮した。(第2号)</p>	<p>Lesson 4 (p. 34～p. 36) Lesson 7 (p. 56～p. 58)</p>
<p>Lesson 6 Power of the Bonds</p> <p>スポーツを通して若者が自らの意志で世界の問題に取り組み、具体的な実行を通して自己尊重感と社会への貢献の意識を持てるようにする。</p>	<p>東日本大震災に対して多くの人々が心を痛めていたことに対してスポーツ選手がどのような取り組みを行ったのか理解してもらい、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮した。(第3号)</p>	<p>Lesson 6 (p. 50～p. 52)</p>
<p>Lesson 5 Super Cool Biz Project</p> <p>自然との共生をどのように進めるべきかを、日常の服装を考えるとところから取り上げ、自然と共生する生活の在り方を考える。</p>	<p>風土に合った生活を行うことの素晴らしさを通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うように配慮した。(第4号)</p>	<p>Lesson 5 (p. 40～p. 42)</p>
<p>Lesson 3 <i>Sanshin</i> Day</p> <p>伝統的な音楽を現在の課題に活かしながら、平和への願いを共有し、ことばの文化を通じて、豊かな郷土づくりに貢献する。</p>	<p>伝統と文化を尊重しながら、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことに配慮し、実践を通して学べるように配慮した。(第5号)</p>	<p>Lesson 3 (p. 28～p. 30)</p>

4、上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 「各個人の能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を養う」に沿って中学校の基礎として英語の発音やリズムへの理解、英文の構成、辞書の活用などを Warming Up として冒頭に取り上げた。
2. 英語で英語の授業に慣れるために各 Lesson に「Activity」を配置し、英語を積極的に使うことに配慮した。
3. 学習指導要領の主旨を分かりやすくするために目次の各 Lesson に教材のテーマを配置した。

編集趣意書

(学習指導要領との対照表、配当字数表)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-107	高等学校	外国語	コミュニケーション 英語基礎	
*発行者の番 号・略称	*教科書の記 号・番号	*教科書名		
205 三友	コ基 302	JOYFUL English Communication Basic		

1、編集上特に意を用いた点や特色

本書は「高等学校学習指導要領」に基づき、「コミュニケーション英語基礎」の教科書として編集した。編集にあたっては次の諸点に留意した。指導要領の目標にある「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」ために、さまざまな活動場面を取り入れ、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う」ために、積極的に英語を活用する場面を取り入れた。なお、中学校学習内容を基本とした基礎的な理解をすすめるために、基本的な英語を使って働きかけられるように工夫した。

編集にあたっては、以下の項目を基本方針と位置づけた。

- (1) 英語の入門期として必要な文字やことばの仕組みなどを「Warm up」として位置付け、英語への導入として配慮した。
- (2) 高校1年生が「やり直しの英語」だからこそ楽しく英語を学び、理解し、積極的にコミュニケーション活動を行おうとする態度を身に付け、その能力を高めることができること。
- (3) 生徒の日常的な生活や関心に配慮しながら、現代日本と世界が直面する様々な課題に応じて新しい教材を発掘・作成し、多面的な角度から検討・精選すること。
- (4) 国際化の進展に対応し、新しい時代の要求に合わせ、ヒューマニズムの観点にたった異文化の吸収と、生徒の側からの発信の両面を配慮すること。
- (5) イラスト・写真などビジュアルな要素を大胆に取り入れ、教科書全体の美的イメージにも配慮した。

2、対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1 We Choose Lesson 6 Power of the Bonds 人間のあるべき姿として思考力を自分の選択の中から見出せるように導入と後半に表現力を重視した取り組みが行えるようにする。	「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」ために、自らを表現する活動に取り組む。 「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う」ために、総合的な教材を配置する。	Lesson 1 (p. 16～p. 18) Lesson 6 (p. 50～p. 52)	7 8

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 2 World Foods Lesson 8 Ice Hotel 生徒の関心が深い食べ物や環境などを題材に、積極的なコミュニケーションへの態度を育てる。	中学校学習指導要領の言語活動をふまえて、生徒の実態や習熟の程度を把握し、それに基づいた授業が展開できるように配慮する。	Lesson 2 (p. 22～p. 25) Lesson 8 (p. 62～p. 65)	7 8
Lesson 3 Sanshin Day Lesson 5 Super Cool Biz Project 導入で英語への興味関心を高めながら、積極的に表現する意欲を高めていく。身の回りの文化を大事にしながら世界への視点を持つ。	それぞれの生徒の中学校における学習内容の定着の程度等を踏まえた上で、定着の程度に応じた言語活動を弾力的に展開できるように配慮する。	Lesson 3 (p. 28～p. 31) Lesson 5 (p. 40～p. 43)	7 8
Warm up 1～6 多くの生徒が中学校の英語に苦労してきたことを踏まえて、基本となる項目を丁寧に指導し、高校英語への導入を図る。	中学校における学習との接続と「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習への円滑な移行ができるように、中学校における基礎的な学習内容を整理して指導できるように配慮する。	Warm up (p. 4～p. 14)	10
Lesson 4 Our Life Lesson 7 My School Days 高校生として意欲や関心を持っていることを踏まえて、障がいを持つことの意味や平和への願いに英語で触れることを通して、適切な言語活動に結び付けていく。	「適切な言語活動を英語で行う」ことに配慮し、積極的に英語が使えるように、基礎的な表現を適宜配置する。	Lesson 4 (p. 34～p. 37) Lesson 7 (p. 56～p. 59)	7 8
		計	70
1. 中学校の基礎として英語の発音やリズムへの理解、英文の構成、辞書の活用などを Warming Up として冒頭に取り上げた。 2. 英語で英語の授業に慣れるために各 Lesson に「Activity」を配置し、英語を積極的に使うことに配慮した。 3. 学習指導要領の主旨を分かりやすくするために目次の各 Lesson に教材のテーマを配置した。			

編集趣意書

(発展的な学習内容の記述)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-107	高等学校	外国語	コミュニケーション 英語基礎	
*発行者の番号・略称	*教科書の記号・番号	*教科書名		
205 三友	コ基 302	JOYFUL English Communication Basic		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
p.67～ p.71	<p>For Reading The Duck in the Gun</p> <p>ニュージーランドの絵本の教材を元にして、人間たちが行うおろかな争いを、非暴力の観点から取り上げて、1年のまとめを行う。</p>	1	<p>中学校のまとめを踏まえて、高校における英語の在り方について、その導入となるような表現及び言語材料を取り上げ、「英語を学び、使うことに興味を抱かせるために、英語を使った活動を豊富に体験させること」につなげていく。</p>

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 _____)